

中央区環境行動計画 2018 評価基準

5つの基本目標における評価項目については、それぞれの内容等を考慮のうえ、採点基準を下記の4つに分類する。

評価項目の採点基準

基準 1 原則 5%増減による採点

進捗状況	点数(4 点満点)
前年度実績に対し、5%以上の増加（減少）である。	4
前年度実績に対し、5%未満の増加（減少）である。	3
前年度実績に対し、5%未満の減少（増加）である。	2
前年度実績に対し、5%以上の減少（増加）である。	1

基準1-2 環境基準(国)の達成状況による採点（大気、河川、自動車公害）

進捗状況	点数(4 点満点)
本年度は、環境基準を全て満たした。	4
本年度は、環境基準の非達成が 1 件あった。	3
本年度は、環境基準の非達成が 2 件あった。	2
本年度は、環境基準の非達成が 3 件以上あった。	1

基準1-3 50%増減による採点（増減率の大きい項目/概ね20%以上）

進捗状況	点数(4 点満点)
前年度実績に対し、50%以上の増加（減少）である。	4
前年度実績に対し、50%未満の増加（減少）である。	3
前年度実績に対し、50%未満の減少（増加）である。	2
前年度実績に対し、50%以上の減少（増加）である。	1

基準1-4 個別計画の目標に基づく採点（二酸化炭素排出量、ごみ量等）

進捗状況	点数(4 点満点)
前年度実績に対し、●%以上の削減（増加）である。	4
前年度実績に対し、●%未満の削減（増加）である。	3
前年度実績に対し、●%未満の増加（削減）である。	2
前年度実績に対し、●%以上の増加（削減）である。	1

※●の削減(増加)率は、個別計画によってそれぞれ異なる。

※各表共通⇒増減なし(現状維持)は2点とする。

基本目標の総合評価基準

基準 1 から基準1-4まで共通

平均値の範囲	評価
$3.2 \leq \text{平均値} \leq 4.0$	A
$1.6 < \text{平均値} < 3.2$	B
$\text{平均値} \leq 1.6$	C

※総合評価は中間年度(2022 年度)と最終年度(2027 年度)を対象に実施します。

基準1-4 個別計画別 年間目標

区内における温室効果ガス排出量を減らす。（二酸化炭素排出量を減らす） 単位：千t-CO2

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
地球温暖化対策実行計画 ※2013(基準年)から2030年度までに21%削減(17年間)	2,399	1,895	-21.01%	-1.24%

区施設における温室効果ガス排出量を減らす。（床面積あたりのエネルギー消費原単位を減らす） 単位：kg-CO2/m²

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画 ※2014(基準年)から2020年度までに5%削減（6年間）	60.3	57.3	-4.98%	-0.83%

区内ごみ量（家庭ごみと事業系ごみの1年間当たりの総量）を減らす。 単位：t

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
中央区一般廃棄物処理基本計画2016 ※2014(基準年)から2025年度までに約11%削減（11年間）	107,427	95,893	-10.74%	-0.98%

事業用大規模建築物従業員1人1日当たりの可燃ごみ排出量を減らす。 単位：g

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
中央区一般廃棄物処理基本計画2016 ※2014(基準年)から2025年度までに約3.9%削減（11年間）	750.3	720.8	-3.93%	-0.36%

容器包装廃棄物の回収量を増やす。 単位：t

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
中央区分別収集計画 ※2019(基準年)から2024年度までに約8.9%増加(5年間)	5,712	6,221	8.91%	1.78%

家庭ごみ1人1日当たりの排出量（燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの合計）を減らす。 単位：g

個別計画	数量		目標	年間目標 (基準1-4)
	基準年度	計画終了年度		
中央区一般廃棄物処理基本計画2016 ※2014(基準年)から2025年度までに約19.2%削減（11年間）	334.6	270.4	-19.19%	-1.74%